



平成 20 年 5 月 9 日

各 位

東京美装興業株式会社
 代表取締役社長 八木 秀記
 (コード 9 6 1 5 東証 市場第二部)
 問い合わせ先
 常務取締役 高橋 幸夫
 (TEL 0 3 - 5 3 2 2 - 2 7 2 1)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 14 日の中間決算発表時に公表した通期業績予想(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)を下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 20 年 3 月期業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	35,380	929	1,179	603	39.53
今回修正予想(B)	35,167	621	883	445	29.15
増減額(B-A)	△213	△307	△296	△158	
増減率	△0.6	△33.1	△25.1	△26.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	35,360	861	1,174	472	30.95

(2) 個別

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	24,082	257	550	290	18.99
今回修正予想(B)	24,244	181	530	316	20.74
増減額(B-A)	161	△75	△20	26	
増減率	0.7	△29.3	△3.7	9.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	27,560	404	701	219	14.38

2. 修正の理由

連結、個別共に、当社グループを取り巻く厳しい市場環境が大きく影響いたしました。営業利益につきましては、ビルメンテナンス事業およびアウトソーシング事業におきまして、人手不足による雇用環境の悪化から人件費の上昇や、パートタイマー等の新規採用に係る諸経費の増加が予想以上のものとなり、更に、契約更改時の価格下落による採算悪化が予想を上回るなど、いずれも利益予想を下回る要因となりました。また、建築エンジニアリング事業におきましては、工事原価の大幅な高騰による利益の低下があり、これらの要因により営業利益が予想を下回りました。

経常利益につきましても同じく、営業利益の減少にともない予想を下回る結果となりました。

(上記予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、若干の不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は上記予想数値と異なる場合があります。)

以 上